



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 U R L <https://www.kadoya.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 高野 純平 T E L 03-6721-6957
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,499	2.0	3,549	26.2	3,717	21.9	2,544	22.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,706百万円 (37.0%) 2025年3月期第3四半期 1,975百万円 (△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 276.43	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	225.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 44,862	百万円 37,056	% 82.6
2025年3月期	43,536	35,265	81.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 37,056百万円 2025年3月期 35,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期(予想)				135.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年2月5日）公表しました「配当方針変更・期末配当予想修正、株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 40,500	% 2.6	百万円 3,500	% 10.5	百万円 3,600	% 6.0	百万円 2,450	% 3.9

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) Kadoya America Inc.、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	9,400,000株	2025年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	196,209株	2025年3月期	196,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	9,203,791株	2025年3月期3Q	9,203,266株

(注) 当社は「株式給付信託（B BT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2026年3月期第3四半期 10,353株、2025年3月期 11,253株、2025年3月期第3四半期 11,253株）を含めています。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは中期経営計画の達成に向けて、2025年4月に策定したパーカス・ビジョン・バリューを経営の判断軸とし、当社グループならではの価値創出による中長期的な企業価値向上を目指して、「ファンベース経営」を本格的に推進しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いた一方、物価高が個人消費の抑制要因となりました。

他方、世界経済では、米国の関税政策の影響が顕在化する中、各中央銀行の金融政策の動向や紅海情勢等の地政学的リスクが引き続き注視され、事業環境の先行きには不透明感が残る状況が続いております。

食品業界では、原材料価格や人件費・物流費の高止まりを背景に価格改定が続き、消費者の節約志向も継続しました。一方、外食産業は一部で中国団体キャンセルの影響がみられたものの、インバウンド需要が堅調に推移し、業務用・中食向けを中心に回復基調が持続しました。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期比3.8%増加した一方、販売単価が同1.6%低下し、数量増を主因として前年同期比2.0%増の30,499百万円となりました。

売上原価は、副資材やエネルギー費用の増加があったものの、主原料価格の低下等により前年同期比0.5%減少し、製品単価あたりの収益性改善に寄与しました。

販売費及び一般管理費は、広告宣伝費が戦略準備段階の影響により減少した一方、脱脂ごまのアップサイクル事業を含む研究開発体制の強化や人的投資の拡充により、将来成長に向けた投資として前年同期比で微増となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、

- ・売上高：30,499百万円（前年同期比614百万円増）
 - ・経常利益：3,717百万円（前年同期比669百万円増）
 - ・親会社株主に帰属する四半期純利益：2,544百万円（前年同期比469百万円増）
- と、増収増益を確保しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) ごま油事業

ごま油事業では、家庭用において「かどやファン」の拡大とブランド価値向上を目的とし、7月から9月及び12月に純正ごま油と調合ごま油の違いを訴求したWeb動画広告を配信したほか、他食品メーカーとの協業によるレシピ提案により、価格訴求に依存しない需要創出を推進いたしました。積極的な広告・販促活動の結果、販売数量は前年同期で増加しました。

業務用では、一部で中国団体客減少の影響が見られたほか、インバウンド需要についても政策動向等を背景に先行き不透明感がみられる局面となりました。一方で、外食産業に対しては、外食チェーン向けに新規採用および既存取引の拡大が進み、調味油カテゴリーの展開が伸展しました。加えて、加工ユーザー向け販売も堅調に推移したことから、業務用全体としての販売数量は前年同期比で増加しました。

輸出用では、米国の関税政策に伴う駆け込み需要の反動や物価上昇などの市況変動リスクを織り込みつつも、需要に応じた販売施策と当社ブランドの指名買い等により、販売数量は前年同期比で増加しました。

以上の結果、ごま油事業全体では販売数量が前年同期比4.0%増、売上高は23,852百万円（前年同期比489百万円増）となりました。費用面では研究開発費や人件費の増加があったものの、数量増と原価改善効果により、セグメント利益は3,174百万円（前年同期比746百万円増）となりました。

2) 食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、加工ユーザー向け高付加価値商品の提案など、顧客ニーズに即した積極的な提案営業を展開しました。

その結果、高付加価値商品のねりごまを中心に需要は堅調に推移し、販売数量は前年同期比1.2%増、売上高は前年同期比3.0%増の6,630百万円（前年同期比194百万円増）となりました。費用面では原料コストが高水準で推移した影響による原料代の増加があったものの、高付加価値商品の販売拡大による増収効果がコスト増を吸収し、セグメント利益は366百万円（前年同期比29百万円増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,325百万円増加しました。これは有形固定資産が511百万円、仕掛品が233百万円、原材料及び貯蔵品が202百万円減少するなどの減少要因があつたものの、現金及び預金が2,333百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ464百万円減少しました。これは主に賞与引当金が442百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益2,544百万円計上と配当金の支払い921百万円の加減算により利益剰余金が1,622百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月5日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

なお、2026年3月期の配当については、本日（2026年2月5日）公表しました「配当方針変更・期末配当予想修正、株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	7,881	10,214
受取手形及び売掛金	8,983	9,093
商品及び製品	2,505	2,314
仕掛品	1,723	1,489
原材料及び貯蔵品	8,677	8,474
その他	597	530
流动資産合計	30,369	32,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,655	4,458
機械装置及び運搬具（純額）	2,145	1,818
その他	3,433	3,446
有形固定資産合計	10,234	9,723
無形固定資産	73	43
投資その他の資産	2,859	2,977
固定資産合計	13,167	12,745
資産合計	43,536	44,862
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	2,832	2,842
未払法人税等	600	512
賞与引当金	638	196
役員賞与引当金	139	95
その他	1,808	1,834
流動負債合計	6,018	5,481
固定負債		
退職給付に係る負債	1,792	1,826
役員株式給付引当金	37	37
株式給付引当金	7	8
資産除去債務	233	234
その他	181	217
固定負債合計	2,252	2,324
負債合計	8,271	7,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
资本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	30,400	32,022
自己株式	△1,359	△1,353
株主資本合計	34,268	35,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,098
繰延ヘッジ損益	△31	36
退職給付に係る調整累計額	26	25
その他の包括利益累計額合計	997	1,160
純資産合計	35,265	37,056
負債純資産合計	43,536	44,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,885	30,499
売上原価	22,083	21,959
売上総利益	7,801	8,540
販売費及び一般管理費	4,989	4,990
営業利益	2,811	3,549
営業外収益		
受取利息	0	6
受取配当金	53	53
為替差益	139	76
雑収入	84	42
営業外収益合計	278	178
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	30	3
固定資産除売却損	—	7
支払補償費	11	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	42	11
経常利益	3,047	3,717
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	3,040	3,717
法人税、住民税及び事業税	828	1,018
法人税等調整額	136	155
法人税等合計	965	1,173
四半期純利益	2,075	2,544
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,075	2,544

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,075	2,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	95
繰延ヘッジ損益	72	68
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	△99	162
四半期包括利益	1,975	2,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,975	2,706
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,040	3,717
減価償却費	855	820
賞与引当金の増減額（△は減少）	△413	△442
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△45	△43
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	53	32
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	5	0
株式給付引当金の増減額（△は減少）	1	1
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△7
受取利息及び受取配当金	△53	△60
支払利息	0	0
支払手数料	30	3
有形固定資産除売却損益（△は益）	7	6
雑収入	△9	△5
売上債権の増減額（△は増加）	△801	△110
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,694	627
その他の資産の増減額（△は増加）	△361	85
仕入債務の増減額（△は減少）	47	9
その他の負債の増減額（△は減少）	△102	159
小計	△439	4,794
利息及び配当金の受取額	53	60
利息の支払額	△0	△0
支払手数料の支払額	△31	△2
法人税等の支払額	△1,085	△1,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,502	3,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10	—
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
有形固定資産の取得による支出	△201	△294
無形固定資産の取得による支出	△2	—
有形固定資産の除却による支出	△5	△2
有形固定資産の売却による収入	0	—
資産除去債務の履行による支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△1	△1
保険積立金の解約による収入	26	13
その他	△12	△179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195	△471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2	△2
配当金の支払額	△921	△920
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	—	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△923	△918
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,621	2,333
現金及び現金同等物の期首残高	8,681	7,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,059	10,214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,363	6,436	29,800	84	29,885
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,363	6,436	29,800	84	29,885
計	23,363	6,436	29,800	84	29,885
セグメント利益	2,428	336	2,765	46	2,811

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,765
「その他」の区分の利益	46
四半期連結損益計算書の営業利益	2,811

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,852	6,630	30,483	16	30,499
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,852	6,630	30,483	16	30,499
計	23,852	6,630	30,483	16	30,499
セグメント利益	3,174	366	3,541	8	3,549

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,541
「その他」の区分の利益	8
四半期連結損益計算書の営業利益	3,549

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。